

〈専門領域名〉

麻酔科

専門研修プログラム名	川崎医科大学麻酔科専門研修プログラム																																																																	
連携施設群 (連携施設一覧)	(研修連携施設A)川崎医科大学総合医療センター、福山市民病院、公立学校共済組合近畿中央病院、倉敷成人病センター、岡山大学病院、神戸大学医学部附属病院、倉敷中央病院、社会医療法人三栄会ツカザギ病院、小倉記念病院、姫路聖マリア病院、岡山中央病院、兵庫県立こども病院、岩国医療センター																																																																	
募集定員数	各年次 5 名	研修期間	4年間																																																															
専門研修プログラムの概略	<p>1. 専門研修プログラムの内容(概略)</p> <p>川崎医科大学附属病院は特定機能病院に認定されており、高度先進医療に力を注いでいる。当院麻酔科専門医研修プログラムは、日本麻酔科学会専門医制度および日本専門医機構専門医制度に準拠しており、麻酔科専門医取得に必要な症例数および研究業績を満たすことが可能である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専攻医研修は、初期研修修了後4年間のプログラムで構成される。原則として、研修の前半2年間、後半2年間のうち1年間は、専門研修基幹施設で研修を行う。前半・後半2年のうち、1年間を研修連携施設(A)のいずれか一つもしくは複数の施設にて行うことができる。 ・当院麻酔・集中治療科の専攻医研修では、優れた麻酔科医として必要とされる周術期管理能力を身に付け、最重症患者の病態生理を正しく理解し、適切な治療を行う能力を育成する。 ・初期研修で経験した麻酔症例に加え、緊急手術・心臓血管外科・呼吸器外科・脳神経外科・小児科・大量出血を伴う手術(肝臓・脾臓手術など)・産科手術などのハイリスク患者の周術期管理を通して、麻酔科専攻医取得に繋がる高い知識と麻酔管理能力を習得する。 ・集中治療研修では、ICU直当およびICU研修期間を通して、最重症患者に対する高度な集中治療医学を研修する。院内急変患者への対応を通して適切な救急蘇生法を学ぶとともに、「アメリカ心臓協会(AHA)心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン2015」に沿った救急蘇生法を習得する。 ・ペインクリニック研修では、周術期急性痛およびがん性疼痛の診断・治療を通じて、薬物療法、各種ブロック療法を習得する。 <p>2. 当専門研修プログラムの研修スケジュール</p> <p>当院麻酔科専門医研修は4年間のプログラムで構成される。研修の前半2年間、後半2年間のうち1年間は、責任基幹施設で研修を行う。優れた麻酔科医として必要な周術期管理能力を身に付け、最重症患者の病態生理を正しく理解し適切に治療を行う能力を育成する。</p> <p style="text-align: center;">【川崎医科大学附属病院麻酔科研修プログラムローテーション表】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">1年目</th> <th colspan="2">2年目</th> <th colspan="2">3年目</th> <th colspan="2">4年目</th> </tr> <tr> <th>前半</th> <th>後半</th> <th>前半</th> <th>後半</th> <th>前半</th> <th>後半</th> <th>前半</th> <th>後半</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専攻医 1</td> <td></td> <td></td> <td>①</td> <td></td> <td>②</td> <td></td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td>②</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>①</td> <td></td> <td colspan="2">③</td> <td></td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td>④</td> <td></td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td>⑤</td> <td></td> <td>①</td> </tr> </tbody> </table> <p>①川崎医科大学附属病院 ②川崎医科大学総合医療センター ③研修連携施設A ④研修連携施設A ⑤研修連携施設A ※プログラムは単位に支障がない範囲で変更可能</p>					1年目		2年目		3年目		4年目		前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	専攻医 1			①		②		①		2			①			②	①		3			①		③			①	4			①			④		①	5			①			⑤		①
	1年目		2年目			3年目		4年目																																																										
	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半																																																										
専攻医 1			①		②		①																																																											
2			①			②	①																																																											
3			①		③			①																																																										
4			①			④		①																																																										
5			①			⑤		①																																																										
専門医に必要な要件の概略	<p>研修期間中に、600例以上の麻酔科管理症例(局所麻酔を含む)を担当医として経験する。さらに、下記の特異な症例に関して、所定の件数の麻酔を担当医として経験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児(6歳未満)の麻酔 25症例 ・帝王切開術の麻酔 10症例 ・心臓血管外科の麻酔(胸部大動脈手術を含む) 25症例 ・胸部外科手術の麻酔 25症例 ・脳神経外科手術の麻酔 25症例 <p>* 帝王切開手術、胸部外科手術、脳神経外科手術に関しては、一症例の担当医は1人、小児と心臓血管手術については一症例の担当医は2人まで。</p>																																																																	
プログラム統括責任者	ふりがな 氏名	とだ ゆういちろう 戸田 雄一郎	所属・ 役職	麻酔・集中治療科 診療部長(教授)																																																														
プログラム担当者	ふりがな 氏名	まえしま きょういちろう 前島 亨一郎	所属・ 役職	麻酔・集中治療科 診療副部長(准教授)																																																														
問合せ先	Tel: (086)462-1111(代表) (内線)25512 E-mail: aneicu@med.kawasaki-m.ac.jp		(部署名) 麻酔・集中治療医学1教室																																																															